

| 今月の不動産経済 (2020年1月)

● 不動産業の動向

		前月比
不動産業景気動向指数 (DI) ^{*1}	45.9 p	1.7 p ↗
		前年同月比
不動産業の倒産状況 ^{*1}	18 件	△ 5.3 % ↘
負債総額 ^{*1}	17,206 百万円	329.4 % ↗

● 新設住宅着工数

		前年同月比
新設住宅着工・総数 ^{*2}	60,341 戸	△ 10.1 % ↘
持家	18,037 戸	△ 13.8 % ↘
貸家	24,147 戸	△ 2.5 % ↘
分譲	17,856 戸	△ 14.6 % ↘
内マンション	6,789 戸	△ 27.5 % ↘

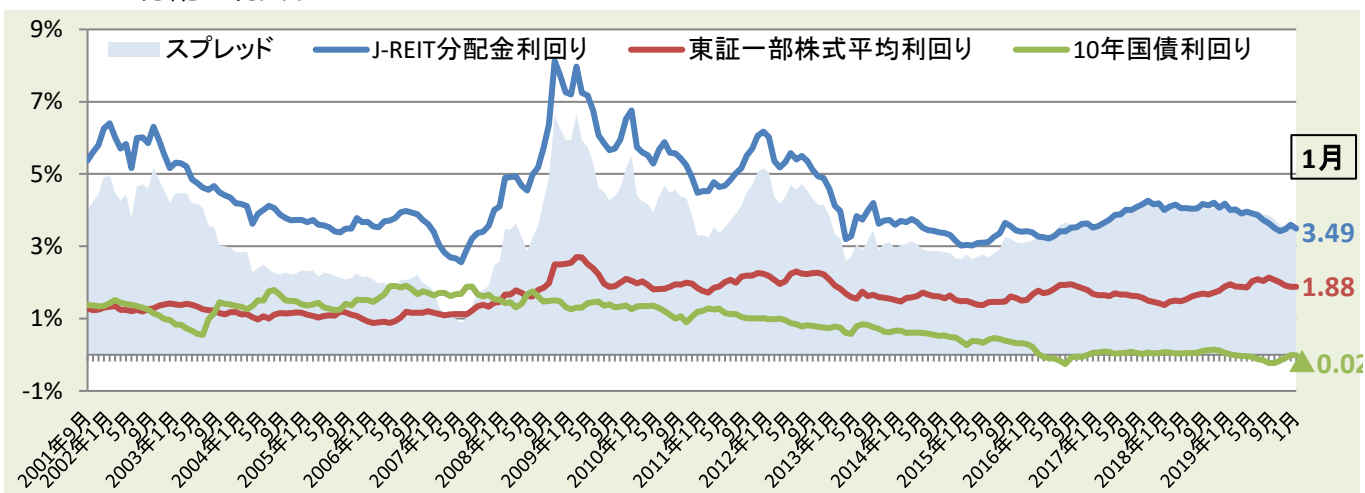
● マンション市場の動向

		前年同月比
新築・供給戸数 (首都圏) ^{*3}	1,245 戸	△ 34.5 % ↘
[契約率]	[63.0%]	△ 4.5 p ↘
平均価格	8,360 万円	47.9 % ↗
新築・供給戸数 (近畿圏) ^{*3}	621 戸	△ 40.5 % ↘
[契約率]	[66.8%]	△ 3.4 p ↘
平均価格	4,296 万円	14.4 % ↗
中古・成約件数 (首都圏) ^{*4}	2,698 戸	0.6 % ↗
平均価格	3,672 万円	11.5 % ↗
[㎡単価]	[56.3万円]	9.4 % ↗
中古・成約件数 (近畿圏) ^{*4}	1,076 戸	△ 7.2 % ↘
平均価格	2,503 万円	4.5 % ↗
[㎡単価]	[36.0万円]	4.7 % ↗

● オフィス市場の動向

		前年同期比 (賃料) / 前月比 (空室率)
オフィス賃料 (都心5区) ^{*6}	22,448 円	6.8 % ↗
オフィス空室率 (都心5区) ^{*6}	1.53 %	△ 0.02 p ↘

● J-REIT分配金利回り^{*7}



不動産業の業況感は前月比 1.7P改善し 45.9pとなった。景気判断の分かれ目の 50を 16ヶ月連続で下回った。

新設住宅着工数は、7ヶ月連続で前年同月比減。

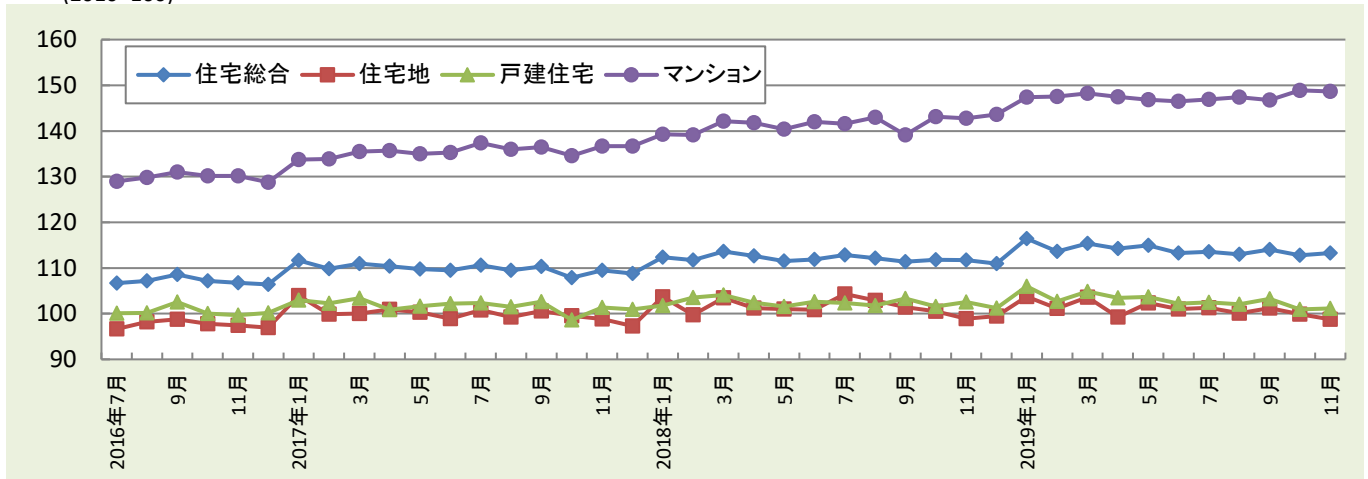
首都圏の新築マンション供給戸数は、前年同月比 34.5%減 (5ヶ月連続で減)。契約率は、63.0%。平均価格は同 47.9%上昇 (3ヶ月ぶりに上昇)。近畿圏の新築マンション供給戸数は、同 40.5%減 (2ヶ月ぶりに減)。契約率は、66.8%。平均価格は同 14.4%上昇 (3ヶ月連続で上昇)。

首都圏の中古マンション成約件数は前年同月比 0.6%増 (4ヶ月ぶりに増)。近畿圏の中古マンション成約件数は同 7.2%減 (4ヶ月連続で減)。

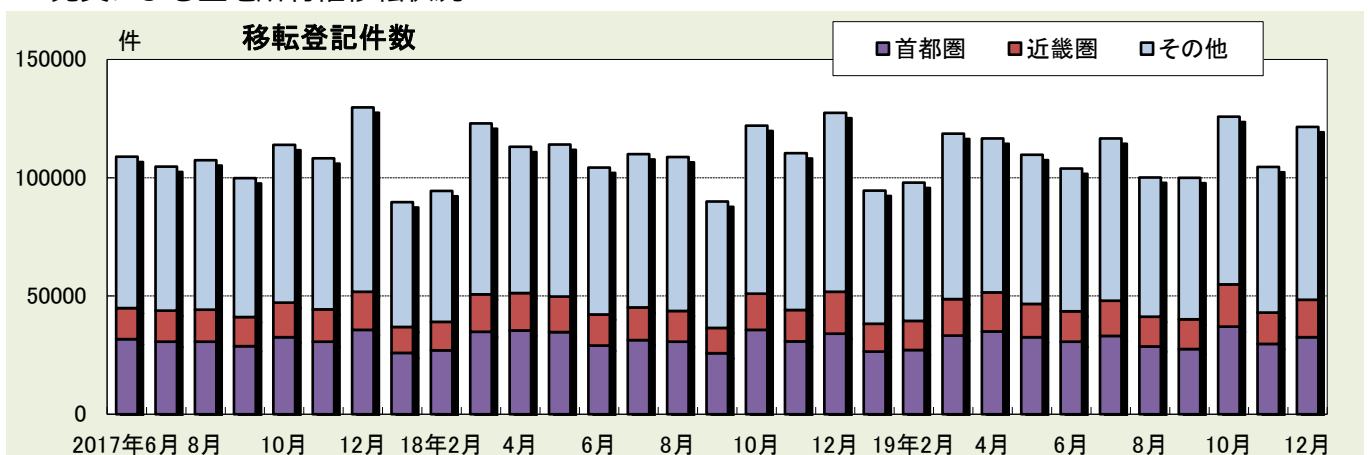
都心5区のオフィス賃料は 69ヶ月連続で前年同月上昇。オフィス空室率は前月比0.02p低下の 1.53%。

● 不動産価格指数^{*2}

(2010=100)



● 売買による土地所有権移転状況^{*8}



*1 帝国データバンク (DIは0~100、50が判断の分かれ目)

*2 国土交通省

*3 不動産経済研究所

*4 不動産流通機構

*5 アットホーム

*6 三鬼商事

*7 不動産証券化協会、東京証券取引所、財務省 (スプレッド = J-RIET分配金利回り - 10年国債利回り)

*8 法務省

[今月の不動産経済](#)

[時系列データ \(excel\) ダウンロード](#)